

道府県	課程番号	現場の声
北海道	①	求人の取消しがかなりある。面接はするが、採用する気がない。今の情勢では見通しも持てない。雇用の創出は緊急課題。
北海道	③	求人票の記載内容についてのハローワークのチェックが不十分であると思う。
北海道	①③	*地元就職希望者がほぼ100%。*パナソニックの工場とその関連企業を除くと、不況ながらも大きな落ち込みは見られなかった。
北海道	④	*部活動を行っていたものが有利だった。*希望する職種が集中し、ミスマッチのケースが多かった。*企業の内情が良くわからない(条件等)。
北海道	①②	経済的な事情から就職を希望する生徒が多いので、自宅から通勤できる職場を希望する生徒が自然と多くなる。しかし、地域柄、地元就職の数にも限りがあり、苦労している。札幌・旭川でも住み込みや寮完備の就職口が増えると、そういった生徒に対応できる。
北海道	①②	地元の企業なのに、地元の生徒を募集しておきながら、採用してくれない企業が複数あった。「とりあえず、求人を出しただけ」と疑いたくなる。
北海道	①	自衛隊のためし受験で、急に進路変更をした生徒に関する問題があった。
北海道	②	求人の数は多少減っている。その中で不安定雇用求人の数は増えているように思う。
北海道	②	*家庭の経済状況が就職時の足かせとなっている。*運転免許の取得ができないどころか、親が受給している生活保護費の減額を避けるため、高校生が卒業後の一人暮らしを余儀なくされている。
北海道	①②	管内求人数が激減。その中で介護系の企業が増えている。職種を選択する余裕なし。管内、とくに千歳近郊に就職する率が高く、求人も空港等があるおかげで、不景気の影響は大きくは受けていない。しかし、本校の生徒は事務職への希望が多く、採用数も限られているので、就職に苦労する生徒も見られた。また、今後は自動車・電機関連会社の求人は減るとの見込みもあり、心配である。
北海道	⑤	進路開拓に必要な旅費の増額を希望する。また、障害を持つ生徒の安定的雇用の充実を希望したい。
北海道	①	地元に残りたがる生徒が多いため、受験先が狭まる。
北海道	③	十勝管内希望の生徒が多いが、地元の求人はあるものの、倍率が高く合格できない。格差が広がって、貧困から抜け出せないのではと、生徒の将来が不安である。
北海道	⑤	*障害者向け求人が少ない。*障害者就職面接会に参加する企業は、はじめから採用する気持ちで来ていないと思われる所が多々見られる。
北海道	①	*ともかく求人が少ない。また、生徒の希望と一致する職種が少ない。*経済的な理由で進学をあきらめ、就職への進路変更も2~3名いる。
青森	①	*県内求人は依然として低調のままで厳しい。この不況の一因に地方分権などの国策も上げられるのではないだろうか。*経済的理由で進学から就職に変更した者も2名おり、不況のあおりは進学にも出ている。
青森	②	女子の県内事務職希望者が圧倒的に多く、それだけでなくとも求人減の中で苦戦した。また、不況・生活難を反映しての進学からの進路変更も出ている。
青森	③	定時制の場合、アルバイトをしている生徒が多い。その関係もあり、欠席が多く不利。どんなに応募数が多くても、書類選考のみで合否を決めず、面接等を実施し採用選考にも企業としての社会的責任があると自覚してとりくんでほしい。
青森	④	公務員試験に失敗した生徒を救いたくても時期的に困難である。
青森	⑤	障害者就労支援・相談センター等の支援体制がまだきちんと確立されていないように感じる。また、公共職業安定所・障害者職業センター・各地域の福祉事務所との連携も少し薄いと感じる。
青森	②	世界的な経済不況にともない、次年度は厳しい状況が予想されるが、現場として「生徒の進路意識」「企業等の分析」をしながら対応していきたい。
青森	⑤	障害者雇用の拡大を希望する。
青森	①	就職未決定者が7名にのぼっている。原因の一つは9月の第1次応募に全員が応募を出せなかったこと。そして、9月末からの急激な雇用情勢の悪化である。来年度はさらなる悪化が予想されるため、早目の対応が肝要である。
青森	①	仙台市の雑貨・食品・健康商品卸小売系企業において1名内定辞退。
青森	①②	*求人票には記載されていない採用条件があった(身体が小さい⇒不採用)。*経済的理由で進学から就職に変更したときには、本人が希望する求人がなかった。
岩手	①②	後半になると、めぼしい求人がなくなり、決まっていなかった生徒には不安定雇用求人でもなんでも決まっていきたいと願ったが、それもほとんど見つからなかった。

道府県	課程番号	現場の声
岩手	①	求人数の減少により、内定がとりづらい。
秋田	②	地元の求人が少ない。保護者は職種などより地元こだわる。
秋田	①	今年度は本校において内定取消のような事例は出なかった。しかし、来年度については非常に心配である。
秋田	①②	公務員の採用決定が遅く、試験に合格しても保留されている生徒もいた(自衛隊・海上保安庁)。改善できる部分は改善してもらいたい。
秋田	③	*9・10月頃までに決定できたか否かで大きく変わってしまった。定時制では中々出願できない(迷い等で)者が多く、出遅れてしまった生徒は中々取り返せない状況。*昨年度までは決まらない生徒と市内企業のマッチングの機会があり、今年も学校から資料PR文を出したが、企業からの問い合わせは皆無だった。
山形	①②	*基礎的な学力をはじめ、欠席日数や資格取得等の条件を出し求人する企業が多くなっている。*求人企業数は変わらないが、採用人数が少なくなり、内定を得ることが難しくなっている。
山形	①	*問題点: 求人票に明記されていないことがある(2次試験があることなど)。可否の通知が遅い。*進路変更: 家庭の経済的理由で、秋頃急に進学から就職への進路変更が出るケースもある。
山形	①	地元求人が減少。採用試験のハードルが高くなっている。
山形	①②	2009年度の状況が予測できない。
福島	①	*進学希望者が学費の工面ができずに断念。*就職できず(不合格)に専門学校進学に変更の例も。*数社不合格で意欲をなくす生徒もいる。
福島	①②	経済的な理由で進学を断念した生徒が数名いた。製造業の求人が皆無となった。
福島	①	*専門学校進学希望者の内、3名が経済上の理由で進学を断念した。かといって、就職をめぐる状況が厳しい。*就職内定したが、業績悪化で勤務日数が減少し、収入源が予想される。家計を支えるはずの両親が失業し、一家を支えるのが卒業生1人となる見込みである。
福島	④	生徒の多種多様な希望職種の開拓が大変。
茨城	①②	求人、就職決定の特徴と問題点では、女子の希望が多い事務職の求人が少なく、就職未決定者も女子が多い。アメリカ発の金融危機による不景気で、高校生の雇用情勢も大変厳しい。日本国としての経済政策をきちんとしてほしい。
茨城	①②	3/1時点で家庭の経済状況の悪化のため進学から就職へ進路変更2名。採用条件変更1件。経済危機が次第に身近なものへと迫ってきている感がある。
茨城	①②	昨年秋以降、就職が難しくなった。今年の求人数がとても心配です
茨城	①②	今年度は大部分の生徒が早めに就職が内定しているの、就職希望者で就職できなかった生徒はいなかったが、次年度は不況の影響で就職の困難が予想される。
茨城	④	*事務を希望する女子生徒が多いが、求人が非常に少ない。*進学を希望していた生徒が、家庭の経済状態が悪化したため、就職に切り替えるケースが増えている。
茨城	②	内定取消があったが、その後別の会社を受験し合格した。
茨城	①②	面接してから、内定決定までの日時が相当かかることがある。1ヶ月程度不安である。次の就職面接にかかれない。
茨城	③	地元企業からの求人がない。追加募集の段階で応募しているのが現状。
茨城	⑤	高等部卒業生5名全員が障害者支援施設は「生活介護」や「自立訓練」等のサービスを受給して通所します。
茨城	⑤	経済悪化のため、障害者求人は激減している。同様に現場実習受け入れ企業も減少傾向です。
埼玉	②	来年度が大変不安です。
埼玉	①	不況のためか、企業も求人については比較的慎重になっている印象がある。また、当初進学を考えていた生徒が家計の急変のため、12月・1月段階で就職を申し出るケースが若干あった。
埼玉	①	進路決定に、保護者の経済的な状況がより強く影響を与えるようになってきている。
埼玉	⑤	*内定取消はなかったが、就業システムの変更等により就業時間が変更になったところがあった。*やはり急激な景気悪化の影響がある。内定が決まったのが10月であり、それ以降の実習だったら決まらなかったかもしれない。
埼玉	①	*AO入試で受かったのにお金が払えず就職にまわった生徒あり。*進学から就職に変更する生徒あり。*ショップ定員希望者の就職活動が遅れる傾向あり。

道府県	課程番号	現場の声
埼玉	⑤	障害者雇用の求人が少ない。
埼玉	⑤	精密機器メーカーが、これまで5回現場実習を行ってきた生徒を最終的には採用してくれなかった。人事課の方も「昨年までなら…」ということで、この不況の影響を受けた。また、2～3年前まで「良い生徒がいたらぜひ」というところが、「今年は無理です」と言っていた。
埼玉	①	経済的な問題で、進学から就職に変更した生徒が多数いた。
千葉	①	今年度はなんとか対応できたが来年度は、今回の経済不況から求人減少が予想され、どう対応していこうか、今から対策を思案中。
神奈川	②	高卒で紹介予定派遣を選択した場合、直接雇用されなかった場合の把握やフォローも難しく、望ましくない。
神奈川	①②	採用試験・内定の決定時期があまりにも遅い企業が増加し、不採用の際の対応が取れない。
神奈川	②	*昨年に比べ、最初の就職試験で不合格となった生徒が多かった。それにとまって、就職内定が遅れた。
神奈川	③	*自衛隊の勧誘:学校にプロモーション用CDを送ってくる。*経済不況が定時性卒業生に追い打ちをかけている。アルバイトなどで欠席が多くなると、ほとんど正規採用の機会がなくなる。*在学中から生徒に対する職業訓練・生活扶助といった社会のシステムをつくるように、政府等に働きかけるべきではないか。
神奈川	③	*定時制という名前で選別されてしまっている感がある。11月以降は電話連絡の段階で断られてしまうケースが多い。
神奈川	②	来年から厳しくなりそうだ。
神奈川	①④	生徒が筆記試験を実施する企業を嫌う傾向があり、希望の企業からの求人があっても応募しないケースがある。
新潟	①	経済的理由で進路変更(進学⇒就職)をする生徒が11月から増加。
新潟	①	ここ数年、人気のある企業に応募が集中する傾向が見られる。
新潟	①②	就職に関しては、進路・学年でスクラムを組んでとりこんでいるので、特に問題はないが、年々、卒業を目標とする生徒が増加してきている。
新潟	①②	経済的理由で進学から就職への進路変更となった生徒が数名いた。
新潟	③	求人減少の影響が大きい。
新潟	④	例年通りだが、島内では職種など選んでいられない。
山梨	①	安易な考えで就職しようとしても、試験で落とされ、入りやすい専門学校に進学するケースがある。
山梨	②	来年度の求人について、すでに断りの連絡が何件か入っている。現2年生への対応の方が急務である。
富山	① ② ③ ④	*景気低迷により来年度の求人減が予想される。現2年生は例年より就職希望が多く、11月までに内定するか不安だ。*市内への就職希望者が多いが、求人数が減っている。特に製造が厳しい。1次で内定せず、3社受けた生徒がいた。*10月以降の景気悪化により、2次応募先を決めるのが大変困難だった。*女子の製造の求人がほとんどなかった。就職希望者の大半は製造を希望している。*進学希望を持ちながら家庭の経済的事情で就職になった生徒がいる。*勉強したくないという理由だけで就職する生徒が多い。また、家庭の経済的理由から就職に変更する生徒も増加しつつある。*3月初め、自宅待機の指示を受けた生徒が数名いた。処遇が心配。*就職試験が再三不合格になり、自信喪失から受験拒否する生徒がいる。*軽度発達障害とみられる生徒への指導に、保護者の理解が得られない場合、大変困難。結局どこも不採用。*軽度発達障害とみられる生徒の就業が大変困難。間口を広げてほしい。*自衛隊の強引な勧誘により、求人があったにもかかわらず志望を変更した生徒がいた。
長野	②③	*10月までは、求人に来校者が多かった。11月に入ってから、企業の来校はなくなった。*全日制の就職希望者は全員内定をもらった。
長野	①	*試験から内定が出るまで1ヶ月以上かかった。*求人取り消しと思われるが「不採用」という形をとられた。
長野	①	家計の悪化から進学内定を断り、就職に進路変更した生徒が2名いた。その後の就職指導が難しい。
長野	①②	企業から不採用通知をもらう場合、その理由について明確な返答をもらえない。
長野	①	*4月以降の条件の変化、求人動向が大変心配である。

道府県	課程番号	現場の声
長野	①	女子の就職枠がすごく減少した(事務がなく、製造も食品のみ)。
長野	②	就職試験日(9/16)にあわせて書類を発送しているので、企業は速やかに試験をしていただきたい。
長野	①	9月末までの第1次受験者10名中不採用者が6名と不採用者が多く出た。
長野	②	実績のない企業の場合、適性検査で落とされる傾向をやや感じる。あるいは「否」でない場合、内定通知が届くまで時間が長くかかり、生徒には「待たされた」という印象を与えたのではと思えることもあった。
長野	①③	Kコーヒーはインターンシップと称して30時間無償で働かせ、合否を決める。
長野	①	製造業の求人が激減。大卒等の応募状況も見ているせいか、結果判明まで待たされる所がある。
長野	②	*厳しい状況の中で内定したが、継続して働けるか心配。短期間での解雇とならないか本当に心配である。*経済的理由でどうしても就職しなければならない生徒が増えているので、求人の確保に努めたい。
長野	①	発達障害の生徒の就職指導が困難である。
長野	②③	家計の悪化を理由とする進路変更が7件あり、うち5件は推薦入試合格後の入学辞退。
長野	①	発達障害の生徒の就職について、制度化されていないため不利なあつかいを受けやすく問題がある。
長野	①③	新規応募では6名中4名が未決定。
長野	②	自分を知らう、自分の夢を見つけよう、やりたい仕事を見つけよう、と、いかにも希望のありそうな指導を1年次にしておきながら、現実にはそのような就職先は見つけてあげられないことが歯がゆい。
長野	①	秋以降、追加の求人が出なくてとても苦しかった。発達障害があるような生徒はまじめに一生懸命活動してもうからない。やむなく進路変更があった。
長野	③	小中学校で不登校だった生徒が多く、現場では最大限の努力をしているが、基礎的学力を十分身に付けるに至っていない。教職員数が十分ではない。
長野	①②	とにかく来年が心配
長野	①	*来年度の求人数が未知数であり、心配している。*入学金・学費が払えず、進学を断念。*採用基準がアップしている。
長野	②③	11月以降は求人がほとんどなくなった。
長野	①②	*進学を断念した生徒が就職への気持ちに切り替えるのに時間がかかり、内定をもらうのに時間を要した。*発達障害の生徒は現時点で就職できていない。*来年度は求人が大幅に減少し、就職できない生徒が増加するものの、経済的に余裕もなく、進学もできない生徒が増加しそうである。
長野	①	地元の求人がほとんどない。就職は高卒に限らず、専門・大学卒でも大変である。行政の画期的な施策を期待する。
長野	①	選べないので、とりあえず就職、という生徒が多いが、これが早期退職につながっていると思う。選べない中でも良い選択をしたい。
岐阜	②	面接試験において、ルール違反もあるが、取り上げにくい。
愛知	①	*入社前の研修や説明会など、手厚く人材を育成しようという企業が増え、安心できる。*内定者で入社説明会1週間前になって給与改定を提示された者がいた。人事担当者が来校、進路指導主事経由で本人へ連絡してほしいとのことであったが、ハローワークへ相談。後日、別の担当者が来校、本人へ直接事情を説明し、承諾書(本人・保護者連名、捺印)をとる形で現在に至っている。「他校ではすんなり納得を得られたのになぜ…？」的な発言も電話でのやりとりもあったため、入社後の本人の処遇に影響がないか、来年度の求人があるかなど、心配している。
愛知	①③	保護者と学校の就職に対する考え方のギャップがあり、特に学校から就職をする場合は、保護者の方に理解を深めていただく必要がある。
愛知	②	景気の急激な悪化が採用意欲の減少になるように思われ、今年度はなんとかあったが、来年が心配である。
愛知	②	2009年度の求人が大幅に減少しそうであり、思うような就職先の確保が難しい。
愛知	②	7月までは昨年度と同様の求人数であったが、景気の後退により8月以降は大幅に減少している。製造業に依存した本県では、来年度の採用計画が立たない企業が多い。不景気でも企業が一体の雇用を持続できるような施策が必要である。
愛知	②	景気の動向に左右され、H.21年度の求人減少が懸念される。

道府県	課程番号	現場の声
愛知	⑤	*自治体の障害者雇用が徐々に増えてきたが、複数名の採用をしてほしい。*就職後のサポート体制の拡充(予算をしっかりとつけてほしいということ)
愛知	②	*欠席・遅刻が多いのは進路意識が低いからという校内意見もあり、現場では風当たりが強い。*就職指導にのってこない生徒が大変。その大半がフリーター等になり、就職希望者数の数に入らないので、内定率には数字上あらわれない。*専門課程をいかした進路先指導といわれるが、求人職種上大変厳しく、理解してもらえない。*進路部として様々な進路行事を実施しているが、公務上仕事量が増加している。*来年度の求人数は大変厳しいと予想される。「企業開拓」が叫ばれるが、現実問題として困難。*不景気の関係でワークシェアリングの企業求人が予想される。
滋賀	②	*今年度は製造業を中心に内定したが、雇用環境が悪化しているので、来年度以降が心配である。*「特別支援生徒」の就職が難しい。
滋賀	①	*障害者雇用をめざす場合の本人・保護者の自認が難しい。*発達障害のある生徒の進路開拓が難しい(何回受けても、わからない。最大5回)。
滋賀	⑤	一般の求人票が動いた9月頃には、障害児は職場開拓中で、その後急激な景気低迷の影響を大きく受けている。さらに、次年度が心配である。
滋賀	②	今年度は9月までは例年通りに推移していたが、10月下旬より、1次不合格者への再受験には応募させてもらえる企業がほとんどなく、進路開拓に困難をきたした。2009年度はどうなるかと大変不安である。
京都	①	*10月上旬に1次選考があり不採用。多くの企業の2次選考に間に合わず、当該生徒については実質的な不利益が生じた。*3月9日入社日の企業がある(1名決定)。*給与面の条件変更を受けた生徒が1名。
京都	①	専門学校進学予定だったのが11~12月になって就職に変更(家庭の経済状況の急変か)。
京都	①	*生徒の就職への心意気・覚悟または職業観が育っておらず、入学時からのキャリアガイダンスの必要あり。*不況下での求人(とくに製造業)を増やしてほしい(なくさないでほしい)。
京都	①②	サブプライム後は採用基準のハードルがぐっと上がった。1回目で内定が取れなかった生徒がその高いハードルに直面している。かつては、まじめでコツコツ努力できる生徒を採用してきた製造業において、そういう作業は派遣・パートに任せ、正社員としてはコミュニケーション能力・リーダーシップ性が求められ、なかなか内定が取れない状況にある。
京都	③	求人状況は調査しても本校に関してはあまり意味がない。公開求人が多く、webを利用して求人票が手に入るの。
京都	②	休日日数など、求人票記載の内容が実際とは異なる場合がある。事業所は「ハローワークの指導でそう書かざるを得ない」と言い、ハローワークの指導が紙の中だけにしか行き届いていない実態がある。実際に労基法を遵守させる指導を行政がすべきであろう。
京都	③	発達障害や知的障害のある生徒の就労先がない。就労先確保のための手立てや関係機関等との連携またそれを行なう進路指導部員の増員などがなければ進路指導が極めて困難。アルバイトもできない生徒の就労をどう保障するのか、難しい。
京都	③	求人票記載の条件を入社前に変えてくる企業が2社あった。
大阪	②	今年も求人数は若干減少したが、就職を希望し、本人がまじめにとりくめば就職できた。しかし、仕事に対する自覚が不十分で、就職・進学以外の数が残っている。
大阪	①	今年度は9月以降の求人がまったく無かった。そのため、進路変更で就職活動を遅れてスタートした者にとっては、かなり苦しい就職活動になった。
大阪	②	進学希望者が経済状況で就職に進路変更。
大阪	②	採用試験を2回に分けて実施する企業が増加している。内定後の課題を要求する企業も多くなっている。
大阪	③	10月から高卒求人は減っていった。年明けから求人の取り下げが起こる。これまで高卒求人を頼りに就職指導を行ってきたが、一般求人を中心に就職を斡旋している。
大阪	②	近畿圏と東京など関東圏の企業では、採用に関するルールについて、大幅な認識の違いがあり(関東圏は、大学生に対する求人と同じように考えているところがかなりある)、近畿圏の対応の仕方をこと細かく説明しなければならない。
大阪	①	*求人内容が生徒の求めているものと合わず、結局、就職が決定しない。*本来、進学希望であるが、家庭の経済的事情により、就職に変更せざるを得ない生徒が増加している。
大阪	③	女子の求人が無い。

道府県	課程番号	現場の声
大阪	①	*内定取消は無いが、自宅待機や勤務条件の変更等は3社ほど出ている。*来年度、求人 の激減も予想されるが、内部留保を溜め込んでいる大企業にそれを有効活用して、雇用 を確保してもらいたい。
兵庫	①	金融危機を辛くも逃れた就職だった。今年に比べ、来年度は想像を超える状況が予想さ れる。
兵庫	①	*昨秋からの不況の影響で就職への進路変更もある。*事務の女子の求人がない。*来年 度求人があるかどうか心配。
兵庫	③	*卒業直前に倒産等で3名が失職。*定時制だが、アルバイト経験のないものが少数いて、 不合格者のほとんどが彼らだった。学力的には本校では高いのだが、就業経験の大切さ を実感。*進路への明確な意識を持っていない者が多く、なんとか指導するものの、最後 まで進路未決定(アルバイト・フリーター)で卒業する者がいる。在学中の2・3年生での将 来への展望を考えさせ、就労経験を積ませたい。
兵庫	③	来年度が非常に心配
兵庫	①	本校においては、企業を志望するというより、職種・安定を志望する生徒が多い。女子は 事務の希望が圧倒的に多く、苦慮している。
兵庫	①②	2回・3回と不調になった生徒がおり、大変困っている。本人に原因があるのかもしれない が、公開求人であり、応募者もかなりあり、ハードルが高くなっているようだ。
兵庫	②	内定取消ではないが、「休日が増える」との連絡が1件あった。
兵庫	①	製造現場は男子偏重、サービス・販売は女子偏重が根強い。男女どちらでも働けるよう に改善しようとする姿勢が見られない事業所が大多数である。
兵庫	①②	*進路変更:進学⇒就職は経済的理由。就職⇒進学は希望する職種がないため。*男子 は製造業中心。女子向きの求人(事務・販売)が少ない。このため学校の指導にのってこ ない生徒がいる。
兵庫	①	求人件数は「やや減少」程度であったが、各企業の求人票をよく見ると求人数が製造・ サービス・運輸で激減(この2年間)。今年の秋以降は、取消があるのではないかと不安で あった。
兵庫	④	今年度は7月中旬までは、昨年度を上回るペースでの求人受理があったが、それ以降、 ほとんど求人が出なくなった。進学希望からの進路変更が多くあり、困難を極めた。次年 度に向けて、就職対策のための財政支援を要望したい。
兵庫	①	*地元の求人が激減した(地方ほど厳しい)。*現実の社会へ一歩踏み出すことに躊躇する 生徒がみられる。*金銭的問題で進学から就職へ進路変更する生徒が増えた。
兵庫	①	就職希望者と求人する企業側の意識面や考え方にギャップがある。就職することの厳しさ について教育・指導することの難しさがある。また、来年度の就職戦線がどうなるか気が かりである。
兵庫	②	高卒対象の求人は、長期低落傾向にあったが、この秋の世界的景気後退により、これが いっそう加速するのではないかと危惧している。郡部の企業は都市部の大手企業の生産 活動に大きく左右されるのが実態である。
兵庫	①	女子の事務職の求人がほとんどないので、応募先を探すのに苦労した。男子は製造業の 求人が多かったので助かった。しかし、来年度は求人の激減が予想され不安である。
兵庫	②	事務職が少なすぎる。来年度の求人数が心配。
兵庫	①	今年度は、地元の製造業の求人数が増えたが、現在の厳しい経済情勢の下で、来年度 の動向が不安である。
和歌山	④	就職希望生徒の意識の低さもある。来年度の求人が心配。現時点でも就職未決定の生 徒は就職活動をしているが、一般求人に入って求職しているので、なかなか決まらない状 況。
和歌山	③	9月以降、求人が大幅に減少。
和歌山	③	社会的適応・自立が難しい生徒への支援が求められる。
和歌山	④	就職決定後のスキルアップ講座などに不参加の生徒が多い。職場見学後も進路を決定し にくい。
島根	④	*地元企業見学会により、応募先を決定した生徒が少なからずいた。*求人票の送付時期 及び選考実施の時期、さらに選考結果通知時期のすべてが遅め。*11月以降の2次応募 先が激減。次年度求人の減少に大きな不安あり。
岡山	⑤	障害を持っていても働くことができるということが、広く企業の方に知られていない。職場開 拓の必要性を感じる。

道府県	課程番号	現場の声
岡山	⑤	現場実習を続けて4回行ない、よい評価をもらっていたが、会社の状況が悪くなったためなのか、年末まで待っても内定をもらえず、やむなく、進路変更した。
岡山	②	今年度は、2次募集がほとんどなかった。
岡山	①②	新規学卒者の事務職の求人数を増やしてほしい。
岡山	⑤	養護学校への求人はなく、職場開拓が大変困難である。
岡山	①②	景気悪化で2次募集の求人が激減したため、1次応募で内定を得ることができなかった生徒は、進路が決まらず、苦戦した。
岡山	②	来年度の求人動向が大いに不安。
岡山	①	生徒自身の意志で就職先を検討するのではなく、最終的な結論(受験するかどうかも)に保護者の意見が大きく反映される生徒の指導は、困難な面がある。
岡山	②	商業高校なので女子の数が多く事務職を希望する生徒が多いが、求人数が少なく、希望を変えなければならない生徒が少なくない。
岡山	④	来年度の就職活動はかなり厳しくなりそうだ。
岡山	②	今年度は10月以降の就職未内定者の指導がとても困難だった。
岡山	③	未内定者の多くが、勤務希望地が狭い範囲に限定していたため、指導が困難で、進路未決定のまま卒業させる結果になってしまった。
岡山	⑤	障害者を積極的に雇用しようとする企業が少なく、求人がほとんどない状態である。
岡山	②	就職未決定者の内2名は12～1月にかけて、進学から就職へ変更したものの、また、女子1名は採用内定を辞退した。
岡山	②	*11月以降求人数が減少した。*内定取消はなかったが、雇用条件の変更や入職時期繰り下げを行なう旨の連絡があった。
岡山	②④	地元の工場が業績悪化のため閉鎖され、遠方の工場への勤務を言われた生徒があった。「地元に残りたい」ということで、結果的に就職辞退ということになった。
岡山	①②	*県内求人増加分は製造業。*次年度の求人数が激減するのではないかと不安である。
岡山	①	就職希望でありながら、受験先を迷っている生徒があり、自分の適性を見つけさせるのに苦労する。
岡山	①②	10月頃から非常に厳しくなり、応募しても内定が取れない状況が続いている。
岡山	①②	近年、学校や担任への信頼が希薄になりつつあるのか、親子ともに学校を通さず、職安へ直接足を運ぶケースも徐々に増えつつあり、指導に苦慮している。
広島	①	入社しても休日が増えると同時に、給料カットの企業が相当見受けられる。
広島	①	求人そのものの数が少なく、また、美容など職種も偏りがちな状況。
山口	④	就職指導専門員の力がたいへん大きかった。来年度の求人状況がたいへん不安である。
山口	①	*普通校だが2/3が就職希望である。また、通学地域も広域なので幅広い求人票がほしいが、小規模校のため、数も限られている。生徒の選択できる幅が狭く困っている。*特別支援を必要とする生徒の就職における地域コーディネーターとの連携が難しい。
山口	①	普通科からの事務系就職は厳しい。
山口	①	今年は希望職種にこだわった女子2名が、卒業直前に適所に恵まれたが、こだわりに対する指導も今後必要になってこよう。
山口	①②	*進学希望だった生徒が、入学金・授業料の見通しが立たないという理由で、就職希望に変わっている。しかし、景気後退で高校生への求人はない。*来年度はこの傾向がより強くなると思われる。求人数をどう確保するか問題。
山口	②	今年度の求人はまだあったが、来年度からは相当数減少する様子である。その対応をどのようにしていくか、大変である。
山口	②	今年度の景気後退は求人票受理後、就職内定後にすすんだので、ほとんど影響はなかったが、来年度が心配である。
山口	②	急激な雇用情勢の悪化に学校現場がついていけない。県内の情報を早急に学校現場に伝える手立てが必要である。
山口	②	応募前見学で適性を見極めることがしやすくなっている。仕事内容を十分理解して、就職先を決定することが必要であろう。保護者への情報提供、家庭との連携をさらに深めることが重要。
山口	②	今年度は2次募集が少なく苦慮した。来年度は1次の段階から、求人数の大幅減が予想されるため、学年末に緊急の保護者懇談を行ない、早急の希望職種把握に努めている。
山口	①②	県内求人が少ない。09年度はそれに拍車がかかりそうである。

道府県	課程番号	現場の声
山口	①④	なんとか就職ができるよう、粘り強く就職活動をしなければならない。女子の販売がない。難しい。
山口	①②	生徒の進路が決まらないため指導が難しい。経済的理由等により進学から就職へ進路変更した生徒の就職が難しい(時期的に)。
香川	⑤	今回はなかったが、採用取消の被害は障害者がこうむりやすいので、常に不安な気持ちでいる。
香川	③	ワーキングプアや非正社員にならざるを得ない若者が増加している労働環境では、「一生懸命がんばれば何とかなる」という指導ができない。
愛媛	②	*高卒段階での就職決定が困難になっている生徒が毎年出てくる。希望が明確でない生徒にとって、どうしてどこに決めれば良いか、決め手が見つかりにくい。*応募前職場見学が増えてきているが、生徒にとっては情報を得る上で好ましいことだと考える。
愛媛	⑤	不景気のため、障害を持った生徒についての雇用は厳しさを増している。
愛媛	①②	第一希望が不合格になった場合、次第に条件が悪くなり、不安定雇用の就職にならざるをえなくなる。保護者・生徒も地元志向が強く、自分にあった就職先がない。
高知	①②	*求人票の提出の遅い事業所(県内)があり、早くから就職を希望している生徒にとっては、少ない職種での選択となり希望職種に就けない場合がある。*進学から金銭的理由で就職へ変更した生徒と、自分の夢を追うなど、就職活動が遅くなった生徒への対応が難しい。
高知	③	求人が少ないため、就職希望者はハローワークに行き、情報をもらってきて対応している。
佐賀	①	一度試験に落ちた生徒は、次の就職先を探すのに苦労した。
佐賀	①	今年度のように、前半と後半の景気の違いが、生徒を大きく揺さぶった年はなかった。C社のように大量雇用したものの、工場建設が延期されるとどうなるのか心配だ。
佐賀	②	学校現場は、新聞・テレビから情報をえるしかない。この急激な求人状況の変化をつかむためにも、公平な報道をしてほしい。
佐賀	②	フリーターとして働くことに生徒本人・保護者ともに同意している場合、進路指導の難しさを痛感している。
佐賀	②	自衛隊に仮合格だった生徒が「4月入隊が不可能」と言われ、11月になってから民間企業を受験したが、まだ就職できていない。自衛隊は勧誘した生徒については必ず合格させてほしい。
佐賀	②	就職後の定着率は、工業高校は高いと思うが、中にはミスマッチのため早期に退職する者もいる。ミスマッチがないように、応募前にできるだけ会社情報を与えたい。
佐賀	②	女子の求人が少なく、受験しても合格内定が少ない。就職を希望していても決まらない生徒が進学に変更している。
佐賀	③	定時制には求人が来ない。ケースバイケースで対応している。
佐賀	③	通信制まで企業は目を向けてくれない。
佐賀	③	求人は、10月以降のアメリカ金融危機後はさっぱり来なくなった。
長崎	①	自動車関係を希望する男子が多いが、求人が限られている上に、減少傾向にある。また、女子の選択できる大企業がない。
長崎	④	公務員の決定時期が遅すぎ、不合格生徒のその後の進路指導が困難。せめて、12月中に最終結果報告を出してほしい。
長崎	③	*県内就職希望でも、遠くて通勤できず、また寮もなく、手当等含め、待遇が悪いので、仕方なく県外になる(男1・女2)。*進学希望があっても、経済的に困難であきらめる者が多い。なんとか2名は就職進学の形で夢をつないだ。一方、進学の手続きを進めていた者の内2名は、経済的理由で就職に変更。

道府県	課程番号	不安定雇用求人に関する記述
北海道	③	アルバイトが2名いる。
北海道	①②	契約社員でも継続雇用の道があるようなら応募している。
北海道	①	将来設計を立てることができない。
北海道	①	パート採用で退職金が出ないものが多い。
北海道	②	そもそも派遣などの仕事が普通に高卒求人としてハローワーク等を通して高校に来ることについて、どうかと思う。最初の仕事が不安定で、その後の人生が安定するはずがない。
北海道	①②	契約雇用が増加している。正社員登用の道もあるという事業所からの連絡もあるが、実態はつかめず、生徒・保護者からの質問も多い。
北海道	①	A社「雇用期間6ヶ月、契約更新あり。指導員や契約社員・正社員への登用制度あり」。B社「雇用期間1年、1年後、適否により正社員、再雇用可能」。C社「1年毎の更新、正社員への登用の途あり」。3社とも正社員という条件をぶら下げているが、正社員になれるかどうかは大いに疑問。薦めたくはないが、他社の条件等を考えると受けさせないわけにはいかない。
北海道	①②	求人票では数年経験した後、正社員へという企業もあるが、今現在の経済状況の中、ほんとうに正社員への道が確保されていくのかどうか、予測できないため、生徒への指導も適確に行なえない。
北海道	③	派遣会社の求人は、スキルアップできないので、生徒にはそのことを了解してもらってから受験させている。
青森	②	不安定雇用3名の内、1名はアルバイトの自己開拓。2名は県内派遣会社で信頼できる企業と判断。県外派遣会社については応募しない方向で指導。生徒は安易にアルバイト等に飛びつくが、今後の景気が見通せないので、苦しくとも正規雇用を目指すように指導している。
青森	③	青森市内の不安定雇用求人がほとんどないため、当校の生徒は受験していない。
青森	④	勤務地が曖昧である。
青森	⑤	障害者の枠が極端に少ない、または皆無である。
青森	①	つい最近までアルバイトをしながら本人が希望する職種へのチャレンジを考えている生徒がいたが、ようやく現実が理解できたらしい。がんばり、根気強く説得する必要がある。
青森	①	本人の希望で静岡県請負業に女子1名が就職。
青森	④	介護施設に多い。
青森	①②	青森県はどん底の求人難であるため、アルバイトでもやむなしという感覚で求人していると思われる。
岩手	①②	不況による雇用不安から、派遣会社からの求人がまったくなくなった。
岩手	①	08年度、該当者はいなかったが、内定取消の生徒に対するフォロー等、対応を考えて
秋田	②	生活が不安定
秋田	①②	日給。雇用期間の定め。
秋田	③	11月頃より求人総数が激減し、12月頃より不安定求人も減ったように感じられる。2月頃に不安定求人はやや増加したように思われる。
山形	①②	今年度に関しては、高校求人にはほとんど見受けられないが、一般求人を見ると事務職を中心として増加している。
福島	①②	時給制が特徴であるが、高卒求人は数が少ない。一般求人には、アルバイト的なものが目立つ。
福島	①	販売の職種での不安定化が顕著である。人材を育成するというより、いま必要な数を揃えて使い捨てるようで、今年度のような経済状況でなければ、生徒に紹介したくない。
茨城	①	不安定雇用への就職は、待遇面や雇用の不安定さでさまざまな問題点がある。不安定雇用への就職は希望しないように指導している。
茨城	①	安定したところ以外は生徒に紹介しなかった。
茨城	④	アパレル関係に販売は契約社員としての就業が殆どであるが、同職種を希望する生徒(主に女子)が多い。
茨城	⑤	障害のある生徒については、パート採用の方が適している場合もあるため応募している。
茨城	⑤	不安定雇用求人についてはできるだけ応募しないようにしているが、正社員での求人がないので、就職が決定していない生徒は、保護者、本人と求人票などで確認してから仕方なく応募している。
埼玉	①	期間の定めのある雇用が多い。
埼玉	⑤	障害者(知的)求人では、パート採用がほとんどで、正社員はなかった。就業時間は6h～8h、時給は722円(最賃)～730円位。

道府県	課程番号	不安定雇用求人に関する記述
埼玉	①	1年間不安定雇用で働けば、正規雇用となる会社もあった。
千葉	①	派遣や契約社員の求人がますます増えていくと思われるが、今回の派遣切りや契約打ち切り問題は、高校生や保護者にも理解が進み、求人はあっても応募はしないと思われる。
神奈川	②	紹介予定派遣の会社の来校があった。今年度の前半は良好な求人状況であったため、わざわざその手の会社を受けさせる理由はなかった。
神奈川	②	飲食店、サービスステーション、介護、理美容補助等が多かった。
神奈川	③	*派遣の求人の割合が微増。年が明けてからの求人は減少。*アルバイト継続が多い。「進学・就職」以外のものも事実上多くはアルバイト。
神奈川	③	途中で条件などが変わってしまう場合がある(面接の途中や研修後などに)。
神奈川	①	生徒に人気のある職種(化粧品販売やアパレル)に不安定雇用求人が多い。
山梨	①	安心・安定した生活ができない。
山梨	②	進路室でははじめから生徒に薦めていない。
新潟	③	パート・アルバイトから正規社員になれる制度が保障されていない。
富山		*子会社なのか派遣社員となるのか判断のつかないものがある。*障害者枠の求人はパートしかないため、応募せざるを得ない。*農業法人の中に、研修員として1年臨時職員、次年度正式採用という所があった。
長野	②③	希望者なし
長野	①	求人票をよく見ないと派遣や請負であることがはっきりしない求人が多い。
長野	①②	ハローワークからの情報をもとに、その方面には生徒を行かせない。
長野	①	雇用状態が不安定
長野	②	軽井沢が職場で冬季は施設(遊園地や美術館)が閉鎖になる会社。そのため12月～3月は失業保険で暮らし、良い人材とみなされれば4月からまた契約となる。不安定な身分であることに会社側も気を遣っており、低姿勢であった。
長野	②	*きちんと就職する意思が希薄。*他にやりたいことがあるのでアルバイト。*公務員志望者が浪人のため希望。
長野	①	本来応募しない方針だが、未決定者の内1名が病氣療養中であり、トライアル事業での応募を考えている。事業終了後もパートで対応していただけるかも含め、事業主と交渉。
長野	①③	進路係としては、正社員の就職について対応している。通信制の多くの生徒は在学中よりアルバイトに就いている。
長野	②	病氣・けが等への対応が十分に配慮されない。人員削減の対象になりやすい。
長野	①	職種(アパレル関係など)によってはアルバイト採用から始まるものもあり、生徒本人が希望する場合は仕方がないという面もある。
長野	①	どうしても製造業という生徒については、この時期だけに、「会社での働きぶりを見て正規採用」という可能性にかけて、不安定雇用という選択肢も示している。
長野	①②	今年は大幅に減少した。
長野	①	県外の知らない企業で、10名以上の多い求人数が大半。
長野	①	景気が悪化したときに、その影響をまともに受けてしまうことが問題だが、構造的な問題といえる。
愛知	①	求人取り消し、一部就業場所、内定後の雇用条件変更があった。
愛知	②	不安定雇用の求人数は、昨年度は前年度比約30%減少し、本年度は昨年度並みの求人数である。労働条件の面で種々の格差があり、雇用も不安定である。生徒、保護者ともに希望せず、教員側もすすめていない。
愛知	②	現在大きな問題になっているように、契約期間が概ね1年であり、継続はあるが生徒には勧められない。
愛知	②	学校の就職指導にのってこない生徒はたぶんアルバイト志望であると思われる。学校の進路指導としては避けるように指導しているが、それでもいいという生徒、自分の志望職種がないとアルバイト志向になる(特に女子が多い)。
京都	③	紹介予定派遣の求人が1件あった。
京都	①	1名不安定雇用で決定。当初2年は派遣社員という例年通りの条件。
京都	①	*以前のように、1社で何件もの求人票という会社は減った。*内定後、勤務先の変更が1
京都	①②	*派遣会社からの求人は激減した。*派遣会社の正社員として求人し、実際には大手企業の派遣工として仕事をするというパターンがある。それを本当に「正社員」といっていいの
京都	②	高卒時には不安定雇用を避けても、その後、解雇や退職により不安定雇用になっていくものがいて学校から手が届かない。簡単に辞めてしまう生徒にも問題があるが、そもそも不安定な雇用しか紹介してもらえない状況もあり、困難を感じている。

道府県	課程番号	不安定雇用求人に関する記述
大阪	②	先がまったく見えてこない。将来の経済的不安や雇用不安がつきまとう。
大阪	①	パート・アルバイトの求人は送られてこない。契約社員の求人は少数、派遣・請負の求人は今年度は急激に減少した。
大阪	②	雇用期間が不透明。
大阪	②	大阪府外からの派遣求人の増加。会社説明会への参加の勧誘。専門職の求人とは別にするので受験する生徒はいない。
大阪	③	在学中に働いていた職場に継続してアルバイトで勤める場合がある。働く環境になれるという、良い面もあるが、給料が上がらない。社会保険に加入していないので将来が不安。ほとんどの生徒は望んでいない。
大阪	②	商品販売・貴金属等高額商品販売・派遣企業。
大阪	①	求人票のないものもある
大阪	①	一応、紹介はするが、応募していない。
兵庫	①	有期雇用の契約更新がされないケースが心配される。
兵庫	①	学校としては正社員を望んでいる。アルバイト・パートは本人が探す。
兵庫	③	不安定雇用はほとんど、在学中のアルバイト継続や縁故。
兵庫	①	派遣業からの求人がほとんどで、事務所個別の求人はない。
兵庫	①②	関東地域の職安を通じた求人の郵送が多くなった。業種はパチンコ・警備・飲食業などが多く、仕事内容がわかりにくく、保障もないようなものも多く、生徒に薦められない。
兵庫	①②	就職後の将来が不確定なものが多い。
兵庫	①	学校としては薦めないが、職種などにこだわる生徒が応募することがある。2・3ヶ月で辞めることが多く、求人票からでは推しはかり難い労働条件の悪さがあるのではないか。
兵庫	④	派遣型の求人については8月以降は無くなった。昨年度は1次応募後もかなりの求人があった。
兵庫	④	数は少ない。本校生徒が受験した企業は、公開求人として1年毎の契約で、「2年更新後に正社員に採用される」旨を確認した。企業が適性をみようとするのはわかるが、最初から正式採用にしてもらいたい。
兵庫	②	「派遣切り」が話題になっているが、本校では従前より不安定雇用求人への応募はしないように指導しを重点的にやってきている。
和歌山	①	派遣の問題が表面化し始めた頃から、減少傾向が見られるが、都会(東京等)からのアミューズメント企業等の求人は依然として送られてくる。
和歌山	③	在学中のアルバイトを継続する。時間を増やした者(4時間⇒8時間・週3日⇒週5日)が多い。
和歌山	④	不安定雇用はカウントしていない。
島根	④	将来的な保障なし。福利厚生面での条件が悪い。給与の高さのみ強調。
島根	①	県外350求人中、4件あり。キャディ2、和裁1、パチンコホールスタッフ1。
岡山	⑤	知的障害者の求人として、正社員採用の数がほとんどない。
岡山	⑤	養護学校からの就職は時給でのパート社員となる場合が多い。しかし、それによって不利益となることも少ない。逆に不利益を被りそうな企業への進路先へは実習に出さないように考えている。
岡山	②	契約社員等の求人が若干あるが、期間が短期間更新のものが多い。
岡山	②	近年、求人票の送付を代行する業者も出てきており、その多くは派遣や請負の求人が入っている。
岡山	①	将来の安定した職、あるいは正社員としての採用が期待できないため、生徒に対して積極的な指導がとれない。
岡山	④	アパレル関係は、アルバイトからが多い(ショッピングモールのテナントなどの求人を見て応募するケースが一般的)。
岡山	⑤	アルバイト社員(3ヶ月毎更新)であるが、現場実習を重ねての雇用で、本人をよく理解していただいている、よほどのことがない限り解雇はしないと約束している。
岡山	②	昨年度は派遣業からの求人が2次・3次とあったが、今年度は10月以降ほとんど募集なしで、求人取消が1件あった。
岡山	②④	学校紹介就職での不安定雇用求人への就職者は今年度はなかった。縁故・自己就職では数名が契約社員として就職している。
岡山	①②	期間雇用後の正社員への移行の約束が曖昧な企業も多く、信じ難い。できるだけ応募しない方向で指導しているが、生徒の強い希望と意向によりやむを得ない状況がある。

①全日制普通科 ②全日制職業科 ③定時制・通信制 2008年度高校生の就職決定実態調査(卒業時)
④総合学科 ⑤障害児学校高等部

道府県	課程番号	不安定雇用求人に関する記述
岡山	①②	学校では不安定雇用への就職斡旋はしない。
広島	①	職種や条件が不詳の求人が一部にある。
広島	①	条件について守られるかどうかの不安がある。
山口	①	給料のちがいがい。
山口	②	全体の求人数は増えている。契約社員、派遣・請負の割合が高くなっている。
山口	②	不安定雇用求人は受け付けていない。
山口	①④	昨秋から大不況となり、これまで付き合いのあった会社(派遣3社・請負1社)も今年度は採用なし。会社そのものの存続も厳しくなってきた様子。
山口	①②	女子の希望する求人(事務・販売)が少ない。一方で、職安に事務・販売の不安定雇用求人が出ている。
山口	①②	派遣・請負は安定していないイメージがあり、希望者が出にくい。
愛媛	⑤	障害児学校なのでトライアル雇用も含まれる。
愛媛	①②	生徒たちは求人票だけで派遣業・請負業等を把握できないため、担任や就職課教員が一人ひとりを親身に指導していかなければならない。
高知	①②	今年度中の雇用については変わっていないと思うが、来年度は大幅に減少する見込み。
高知	③	定時制へは求人が少ない。
佐賀	①	不安定なところが心配。
佐賀	②	*大手メーカーへの派遣が中心で、業種のほとんどは製造業。*製造業全般に不景気となった際は、派遣先がなくなり失業してしまう。
佐賀	②	仕事内容・賃金等雇用条件が変わりやすく、職場として安定していない。学校では、正社員としての雇用を指導している。
佐賀	③	生徒個人で求人雑誌などを見て応募している。
佐賀	③	*正社員になれない。*都合によって切られる。*安定した生活が送れない。*技術等スキルが身に付かない。*ワーキングプアから抜け出せない。
長崎	①	*いつ雇用を打ち切られるかわからない。*就業場所が安定していない。
長崎	③	良い求人がないので、在学中のアルバイト先で、そのまま働き続ける者が9名も生じている。